

「交通インフラの持続と展開のための企業経営」

日時：10月28日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階

SMBC Academia Hall (対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、(株)みちのりホールディングス 取締役会長 松本順 氏からお話を伺います。

我が国の交通インフラは民間の企業経営によって支えられており、その持続と展開は国や自治体との連携に加えて企業のサステナビリティを前提としています。しかし近年、運転士不足をはじめとする供給制約に直面し、労働生産性の向上を背景とした待遇改善・働き方改革を通じた人材確保が必須の状況となっています。そして、その実現のためには、健全なコーポレートガバナンスの確保、高度なマーケティング、デジタルトランスフォーメーション(DX)などの取組が重要となります。そうした観点から、DXの具体事例やリアルな経営の有り様を紹介し、地域の交通インフラ経営について考察します。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



(株)みちのりホールディングス
取締役会長
松本 順 氏